

## 論文

## 英語学習の特異的なつまずきを評価するスクリーニング法の開発

Development of an Assessment Method for Screening Japanese EFL Learners  
Having Difficulties with Reading and Writing

中川あすか (高知市立城北中学校) <sup>1</sup>

鈴木 恵太 (岩手大学教育学部) <sup>2</sup>

上岡 清乃 (高知大学大学院) <sup>3</sup>

多良 静也 (高知大学教育学部) <sup>4</sup>

NAKAGAWA Asuka <sup>1</sup>, SUZUKI Keita <sup>2</sup>

KAMIOKA Sayano <sup>3</sup> and TARA Shizuya <sup>4</sup>

*1 Kochi Municipal Johoku Junior High School*

*2 Faculty of Education, Iwate University*

*3 Graduate School, Kochi University*

*4 Faculty of Education, Kochi University*

## ABSTRACT

Along with the announcement of the new *Course of Study* and Foreign Languages becoming an official subject from the upper grades of elementary school, students are now required to learn how to read and write English. Until now, English instruction in elementary schools has focused on listening and speaking skills and sought to ensure grounding in communication skills. However, the introduction of English writing/reading requirements in the curriculum evidently implies that some students struggle with these activities. To this end, a standardized method for evaluating the difficulties of English learners in Japan is yet to be established. To identify students experiencing difficulties with reading and writing early on and ensure appropriate educational intervention, there is an urgent need to develop an effective and objective method of evaluation.

This study focused on the connections between English alphabets and sounds to develop a paper-based evaluation method comprising seven tasks, which was then administered to 203 junior high school students. Then, students who were considered to be struggling were identified using percentile values and cluster analysis. The results of discussions with Japanese teachers of English showed that almost all of the students who were identified were the same students whom the teachers indicated as having struggling during classes up to that point. These results verified the effectiveness and objectivity of the evaluation method developed in the study.

## 1. はじめに

文部科学省 (2012) によると、通常学級に在籍する発達障害など学習面や行動面に著しい困難を抱える児童生徒は 6.5% だと推定されている。中でも読み書きに困難を抱えている児童生徒は、その様態、困難の程度の多様さから、特に気づかれにくいという現状がある。日本語の読み書きに困難がある児童生徒の多くは、英語学習においても同様に困難を抱えてしまう可能性が高い。また、他の教科にはつまずきはなかったものの、英語学習において初めてつまずきを見せるケースも報告されている (Shiota, Koeda & Takeshita, 2000)。聞く・話すが中心の小学校外国語活動・外国語では、困難が表面化せず、読み・書きが本格的に始まる中学校で困難を示すケースも想定できる。そのため、英語学習における困難をいち早く発見するための評価法が必要である。しかし、日本における英語学習者の読み書き困難に関する研究は端緒についたばかりであり、適切な支援に必要なつまずきを特定するための評価法は見当たらない (神谷, 2015)。インクルーシブ教育が進められている中で、通常学級には様々な発達段階や特性をもった児童生徒がこの先増えていくことが予想される。英語学習の特異的なつまずきを評価するためのツールを開発することで、英語学習におけるつまずきの早期発見が可能となり、より適切な教育支援を行うことができるのではないかと考える。

以上のことを踏まえて、本論文では、英語の読み書きに問題を抱える生徒を客観的に把握できる評価法を提案することを目的とする。

## 2. 先行研究

読み書きに関する障害はディスレクシア (dyslexia) とも呼ばれ、学習障害 (Learning Disabilities : LD) に含まれる概念である。LD とは「基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである」と定義されており、これは、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害といった障害や環境的な要因が直接的原因ではなく、中枢神経系の何らかの機能障害に起因するものであるとされる (文部科学省, 1999)。ディスレクシアの特徴としては、「正確かつ (または) 流暢な単語認識の困難さ」や「綴りや文字記号音声化の拙劣さ」が挙げられる (Lyon, Shaywitz & Shaywitz, 2003; 宇野, 2016)。読み書きなどの文字習得に関わる認知機能として、英語圏では音韻認識の関与が重要視されてきた (Snowling, 2000) が、仮名文字に加えて漢字を学習する日本語では自動化能力や音韻情報処理能力、視覚認知能力の関与が報告されている (例えば、猪俣・宇野・春原, 2013 など)。

日本語の読み書きに困難を抱える子どもの多くは、英語の読み書きにおいても顕著な困難を示すことが指摘されている。しかし、英語は音と綴りの対応関係が複雑であり、日本語では特に問題がなかった児童生徒でも、英語学習において初めて困難を示す場合がある。Shiota, Koeda & Takeshita (2000) では、読み書き

に困難をもつ児童生徒 7 名に対して学力検査や WISC-R などの心理検査、脳波分析を行った。その中で、小学生の時には日本語における読み書きにおいて大きなつまずきはなかったが、中学生になって英語の読みへの困難が顕著になった症例が報告されている。読み書きに困難を抱える児童生徒は聞くことや話すことには問題がなく、特に小学校外国語活動では、これまで英語の文字を扱わないとされてきたため、読み書きに関するつまずきが表面化しなかった可能性が高い。しかし、新学習指導要領では、小学校外国語活動は教科化され、文字の本格的導入が始まる。英語の読み書きにつまずく児童の早期発見は、適切な指導を施すためには必要不可欠なものであり、英語に特化したスクリーニングをする必要がある。

英語の読み書きに困難を抱える児童生徒の評価法に焦点をあてた研究は国内では散見するのみである。麻植・小枝 (2014) では、英語教員に対して英語学習につまずいている生徒についてのアンケート調査と LD 判断のための調査票 (LDI-R) を実施した。その結果、48 名中 22 名に無回答の項目が見られた。学年人数や受け持ち人数が多くなることで、教師が生徒の個々の実態を把握するのが困難になり、細かな部分の回答をすることが難しかったからだと考察されている。また、神谷 (2015) では、「ひらがな・漢字の書字における発達段階評価表」とその評価課題の指標を援用し、英単語の読み書き能力に関する評価法を作成し、高校 2 年生 1 名に実施し、その結果に基づいて支援を行った。その生徒は中学生の時から既に英語の読み書きに困難を抱えており、それを理解した上での評価法の実施であった。子どものつまずきの早期発見、合理的配慮の必要性は高まっているが、教師が通常学級の中で子ども一人ひとりを詳しく把握するには限界がある。通常学級に在籍する様々な特性をもつ子どもたちに対して、どこでつまずいているのかを評価できる妥当性のある客観的な方法の開発が求められるが、上記の神谷 (2015) は、様々な特性の生徒が混在している通常学級の中から困難を抱える生徒を検出するものではない。

小学校での英語教育が教科化され、低学年化されるに従って、英語の読み書きに困難を抱える子どもたちは今後ますます増えていくことになるであろう。こういった状況では、英語学習における基本的な知識や「読む」「書く」「聞く」といった基礎的な力に弱さのある生徒を把握し、読み書き困難の原因となる視覚認知や聴覚認知の弱さを測定する妥当性・信頼性のある標準化された評価法が求められる。そこで、本研究では、中学生を対象として、一斉に実施可能で、読み書きに困難を抱える生徒を適切に検出できるような紙媒体の評価法を作成し、その妥当性と信頼性について検証を行うこととする。

## 3. 調査

## 3.1 評価法の課題の検討

評価法を構成する課題は、読み書きに困難を抱えている中学生のつまずきの根底にある認知機能の弱さを評価できる内容を選択し

た(実際の評価法は Appendix 参照)。課題は7つに分かれている。各課題の評価のねらいは次の通りである。

- 問1：基礎的な文字知識
- 問2：基礎的な語彙力
- 問3：基本的な視覚的分析力
- 問4：文字の視覚的認識能力
- 問5：音韻処理や音を形に変える(encoding)力、基礎的な文字認識(書き)の力
- 問6：基本的な聴覚認知(音の弁別能力)
- 問7：基本的な読みの能力(decoding)の力

問1から問7で使用した英単語は、今回調査協力を頂いたA中学校の英語授業で使用されている *SUNSHINE ENGLISH COURSE1* の中から、調査協力者の既習単語より選出した。問3では、形が似ていて見間違えが多い文字や鏡文字を選んだ。問4の課題文は *NEW CROWN ENGLISH SERIES 1 Lesson 7 Wheelchair Basketball* を使用した。また、問5と問7については、既習単語の中から横川(編著)(2009)をもとに音声親密度(7段階評価の平均値)6.0以上の単語を選出した。問6はミニマルペアを選んだ。表1は評価法に含まれる課題の概要を実施時間とともに整理したものである。

表1 評価法の基本情報

| 問  | 課題         | 内容   |
|----|------------|--|
| 問1 | アルファベット課題  | アルファベットの大文字を全て書く課題                               |
|    | (2分)       |  |
| 問2 | 単語課題 20問   | 英単語の意味を書く課題                                      |
|    | (3分)       | 例：dogの右側に解答欄が設けられており、そこに意味を書く。                   |
| 問3 | 視覚弁別課題 20問 | 2つの英単語を見比べて、同じか違うかを答える課題                         |
|    | (2分)       | 例：soup/souqの右側に○×が書かれており、同じであれば○、違っていれれば×に丸をつける。 |
| 問4 | 視写課題       | 英語の文章を時間内に速く正確に書き写す課題                            |
|    | (3分)       |  |
| 問5 | 聴写課題 20問   | CDから流れる音を聞いて英単語を書く課題                             |
|    | (2分)       | 例：catという音声を聞いてそのつづりを解答欄に書く。                      |
| 問6 | 聴覚弁別課題 20問 | 2つの音を聞いて、同じか違うかを答える課題                            |
|    | (2分)       | 例：bear/pairといった2つの音を聞いて、同じであれば○、違っていれれば×に丸をつける。  |
| 問7 | 音読課題 20問   | 英単語を速く正確に読む課題                                    |
|    |            | 例：animal, teacher, nowと縦に単語を読んでいく。               |

### 3.2 検証日時・場所・協力者

2016年12月15日に高知市内のA中学1年生86名と12月19日に2年生117名の計203名に対して調査をした。問1から問6はA中学校の教室内で一斉に行い、問7はその廊下で個別に行った。試験の指示や問題用紙の配布・回収は、第一筆者作成の実施マニュアルにもとづき大学生4名で行った。

### 3.3 採点方法とデータ入力

回収した解答用紙を採点し、表2の通り Excel に入力した。採点・データ入力は、大学生10名で行った。問1はAからZの順番通りに書けていなくても正解とした。問4は、書字数(文字・ピリオドや疑問符)をカウントし、誤り(誤字、語の置換・付加・繰り

返し)も書字数として数えた。誤り数は、単語単位とし、単語の省略・置換・付加・繰り返し・転移・行飛ばしは各1回の誤りとしてカウントした。ピリオドや疑問符の省略、付加も誤りとした。問5の16番はtodayのみを正解とし、to dayは誤りとした。問7は、読み飛ばしや読み誤り、言い間違えて修正したものを誤りとした。

## 4. 調査結果

### 4.1 特異的なデータを示す生徒の抽出

Excel に入力したデータから各学年の平均値、標準偏差値、最高値、最低値を表3にまとめた。また、各課題の内的信頼性を検証するために Cronbach の  $\alpha$  係数を算出し、その結果についても表3に示した。その結果、問1から問5は十分な信頼性を確認

表2 データの種類

| 問  | 課題        | データの種類    |
|----|-----------|-----------|
| 問1 | アルファベット課題 | 01データ*    |
| 問2 | 単語課題      | 01データ     |
| 問3 | 視覚弁別課題    | 01データ     |
| 問4 | 視写課題      | 総書字数、誤り数  |
| 問5 | 聴写課題      | 01データ、書字数 |
| 問6 | 聴覚弁別課題    | 01データ     |
| 問7 | 音読課題      | 音読時間、誤り数  |

\*正解を1、誤りを0とするデータのこと

表3 学年ごとの基本統計値

|    |         | 1年生  |      |     |     |          | 2年生  |      |     |     |          |
|----|---------|------|------|-----|-----|----------|------|------|-----|-----|----------|
| 問  | 課題      | Mean | S.D. | Min | Max | $\alpha$ | Mean | S.D. | Min | Max | $\alpha$ |
| 問1 | アルファベット | 24.9 | 2.9  | 9   | 26  | 0.91     | 25.5 | 1.6  | 15  | 26  | 0.79     |
| 問2 | 単語      | 15.1 | 6.1  | 0   | 20  | 0.95     | 17.7 | 3.6  | 0   | 20  | 0.88     |
| 問3 | 視覚弁別    | 18.9 | 2.4  | 5   | 20  | 0.87     | 18.8 | 3.1  | 0   | 20  | 0.92     |
| 問4 | 複写 総書字数 | 40.0 | 13.9 | 8   | 70  |          | 53.5 | 15.0 | 17  | 94  |          |
|    | 複写 誤り数  | 1.2  | 2.0  | 0   | 12  |          | 0.9  | 1.3  | 0   | 6   |          |
| 問5 | 聴写      | 8.0  | 5.4  | 0   | 19  | 0.90     | 14.4 | 5.3  | 0   | 20  | 0.90     |
| 問6 | 聴覚弁別    | 18.0 | 1.4  | 15  | 20  | 0.21     | 17.8 | 2.2  | 5   | 20  | 0.57     |
| 問7 | 音読 時間   | 36.3 | 16.5 | 11  | 92  |          | 29.0 | 17.3 | 7   | 97  |          |
|    | 音読 誤り数  | 8.0  | 6.0  | 0   | 20  |          | 3.3  | 4.9  | 0   | 20  |          |

することができたが、値が 0.8 を下回る問6については信頼性の観点で疑問が残る。しかし、次の度数分布の図の結果から、ある程度の弁別能力があると判断し、問6は除外しないこととした。

本研究では、特異的なデータを示す生徒を丁寧に検出するために、2つの方法を用いることとした。パーセンタイル値（分位点）、および、クラスター分析である。これらを併せて用いることによって、より正確に英語学習につまずきのある可能性をもつ生徒を広く検出することができると考えられた。

はじめにパーセンタイル値を用いて検出した。パーセンタイル値とは、観測値の分布（ばらつき）を小さな数字から大きな数字に並べ替え、パーセント表示することによって小さい数字から順に並べ変えた観測値においてどこに位置するのかを測定する単位であり、すなわち50%タイル値が中央値にあたる。一般的には10%を基準にすることが多く、本研究でもその値を学習のつまずきがある可能性を抽出する基準として用いることとした。各課題の度数分布および10%タイル値を示した図は以下の図1から図18である。グラフの縦線は、各課題の10%タイル値を表しており、よって、問1・問2・問3・問4の書字数・問5・問6は縦線の左側に、問4の誤字数と問7の時間・誤り数は縦線の右側に特異的なデータがある可能性があると言える。

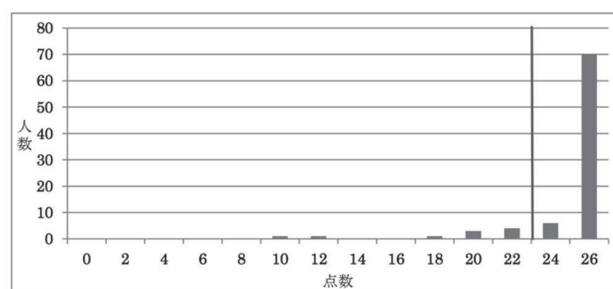


図1 1年生 問1 アルファベット課題の度数分布

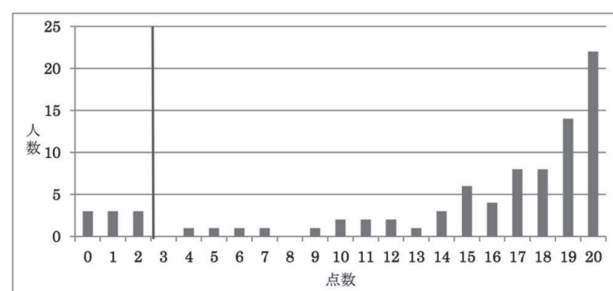


図2 1年生 問2 単語課題の度数分布

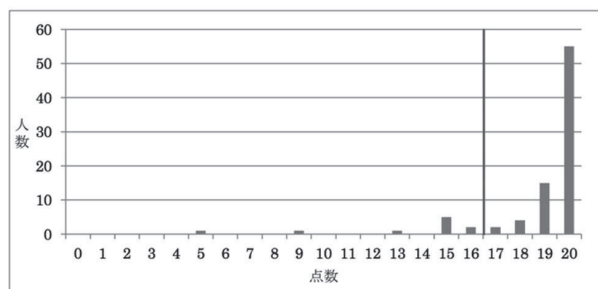


図3 1年生 問3 視覚弁別課題の度数分布

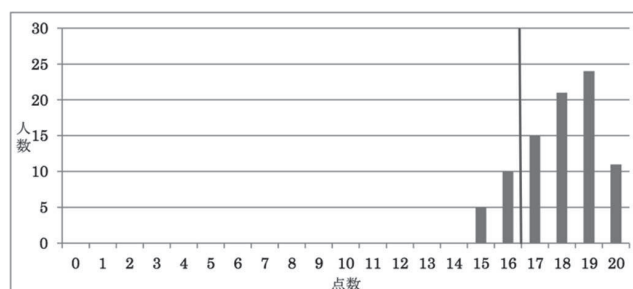


図7 1年生 問6 聴覚弁別課題の度数分

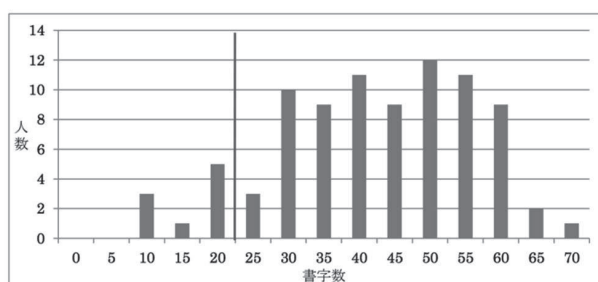


図4 1年生 問4 視写課題 書字数の度数分布

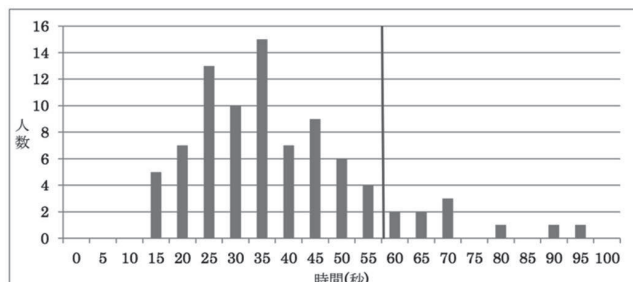


図8 1年生 問7 音読課題 時間の分布度数

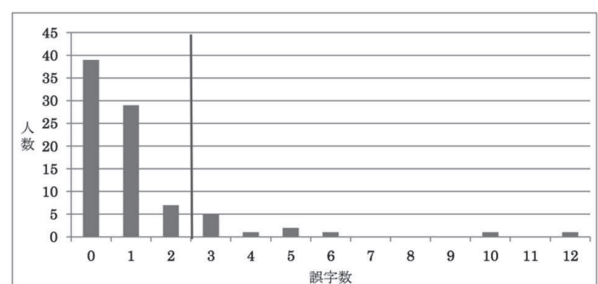


図5 1年生 問4 視写課題 誤字数の度数分布

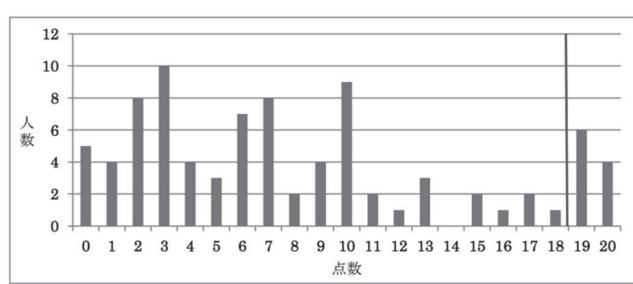


図9 1年生 問7 音読課題 誤り数の分布度数

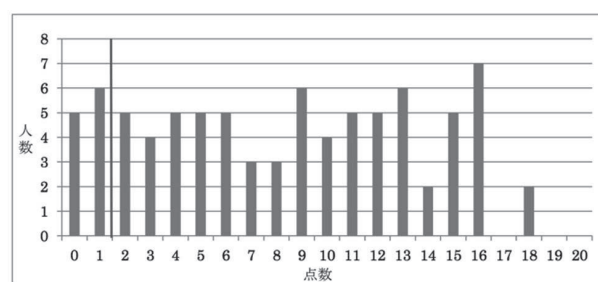


図6 1年生 問5 聴覚課題の度数分布

なお、紙面の都合上、本論文には図1～図9として1年生の結果のみを掲載する（紙面の都合上、1年生のパーセンタイル値によるグラフのみ掲載する。2年生のグラフが必要な方は第一筆者または第四筆者に問い合わせ頂きたい）。

そしてパーセンタイル値を基準に学習につまずきをもつ可能性のある生徒をまとめたのが表4である。下位10%の成績であった課題には問1から問7の欄に丸がついている。1つでも下位10%の課題があった生徒を含めると合計102名が検出された。

表4 パーセンタイル値で検出された生徒

| 生徒番号 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4書 | 問4誤 | 問5 | 問6 | 問7時 | 問7誤 |
|------|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|
| 1101 |    |    |    |     |     |    | ○  |     |     |
| 1104 |    |    | ○  | ○   |     | ○  | ○  |     |     |
| 1106 |    |    |    |     |     |    |    | ○   |     |

|      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1108 | ○ | ○ |   |   | ○ | ○ |   |   | ○ |
| 1109 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 1110 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1115 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 1116 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1120 |   | ○ |   |   |   | ○ |   | ○ | ○ |
| 1122 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 1123 |   |   |   |   |   | ○ |   | ○ |   |
| 1203 | ○ |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 1204 | ○ | ○ | ○ | ○ |   | ○ |   |   | ○ |
| 1205 | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   |   |   |   |
| 1207 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 1208 |   | ○ |   |   | ○ | ○ |   |   | ○ |
| 1210 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 1215 |   |   | ○ | ○ |   | ○ |   |   |   |
| 1222 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 1224 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1303 | ○ |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 1304 | ○ |   | ○ |   | ○ |   |   |   | ○ |
| 1308 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1309 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1311 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1312 |   |   |   | ○ |   |   |   | ○ |   |
| 1318 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1319 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ |
| 1405 |   |   | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   |
| 1406 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 1408 |   |   |   |   | ○ |   |   | ○ |   |
| 1409 |   |   |   |   |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1411 |   | ○ |   |   | ○ |   | ○ |   |   |
| 1414 |   | ○ |   |   | ○ |   |   |   | ○ |
| 1417 | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ | ○ |   | ○ |
| 1418 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1421 | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   | ○ |
| 2101 | ○ | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2104 |   | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |   |
| 2105 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2108 |   | ○ |   |   | ○ | ○ |   |   | ○ |
| 2112 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2115 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2116 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2119 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2120 |   |   | ○ |   |   | ○ |   |   |   |
| 2121 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2122 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |

|      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2124 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2130 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2132 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2134 |   |   |   |   | ○ |   | ○ |   | ○ |
| 2201 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2202 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2203 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2206 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2207 |   |   | ○ |   |   |   |   |   | ○ |
| 2209 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2210 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2211 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2212 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2213 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2218 |   | ○ | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |
| 2219 | ○ | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2220 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2222 |   |   |   |   |   |   |   |   | ○ |
| 2224 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2228 |   |   |   | ○ |   |   |   | ○ |   |
| 2229 |   |   | ○ |   |   |   | ○ |   |   |
| 2230 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2231 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2234 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2302 |   | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   |   |   |
| 2304 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2307 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2310 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2312 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2314 |   | ○ |   |   | ○ | ○ | ○ | ○ |   |
| 2315 | ○ |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2316 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2322 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2323 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2325 |   |   |   |   |   |   | ○ | ○ |   |
| 2326 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2328 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2329 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2330 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2402 |   |   |   |   | ○ |   | ○ |   |   |
| 2403 |   |   | ○ |   | ○ |   |   |   |   |
| 2404 |   | ○ |   | ○ |   | ○ |   |   | ○ |
| 2407 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2410 | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |
| 2412 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |

|      |   |   |   |  |   |   |   |   |   |
|------|---|---|---|--|---|---|---|---|---|
| 2418 |   | ○ |   |  |   | ○ |   |   | ○ |
| 2420 | ○ |   | ○ |  |   |   |   |   |   |
| 2426 | ○ |   |   |  |   |   |   |   |   |
| 2427 | ○ |   |   |  |   |   |   | ○ | ○ |
| 2428 |   | ○ |   |  |   | ○ |   |   | ○ |
| 2429 |   | ○ | ○ |  |   | ○ |   |   | ○ |
| 2431 |   |   |   |  |   |   | ○ |   |   |
| 2432 | ○ |   |   |  |   |   |   |   |   |
| 2434 |   |   |   |  | ○ |   |   |   |   |

次に問3と問4を視覚系課題、問5と問6を聴覚系課題とし、視覚系課題・聴覚系課題・全課題について学年ごとにクラスター分析を行った。クラスター分析とは、さまざまな性質が混在するデータを、客観的な数値基準に従っていくつかの集団（クラスター）に分けて、類型化することにより対象の特性を分析する手法である。本論文では、紙面の都合により、1年生の視覚系課題お

よび全課題のデンドログラムを図10～図11として掲載する（紙面の都合上、1年生のパーセンタイル値によるグラフのみ掲載する。2年生のグラフが必要な方は第一筆者または第四筆者に問い合わせ頂きたい）。

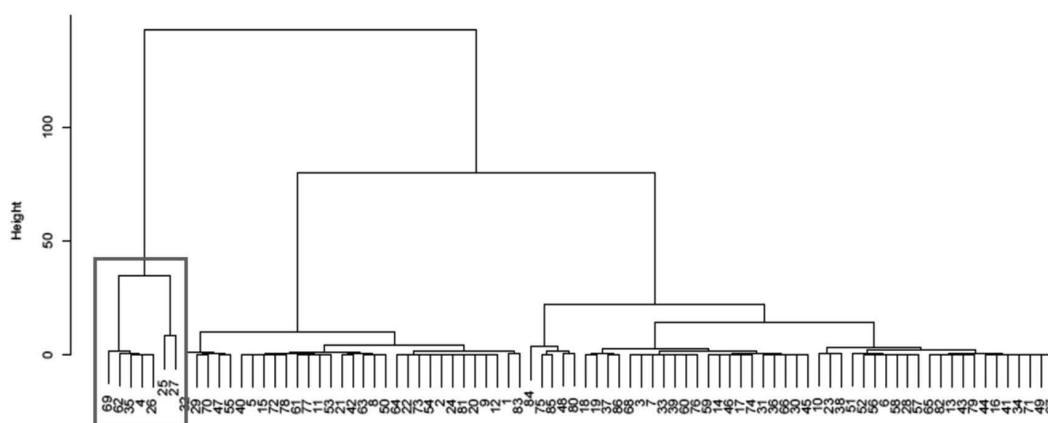


図10 1年生の視覚系課題のクラスター分析

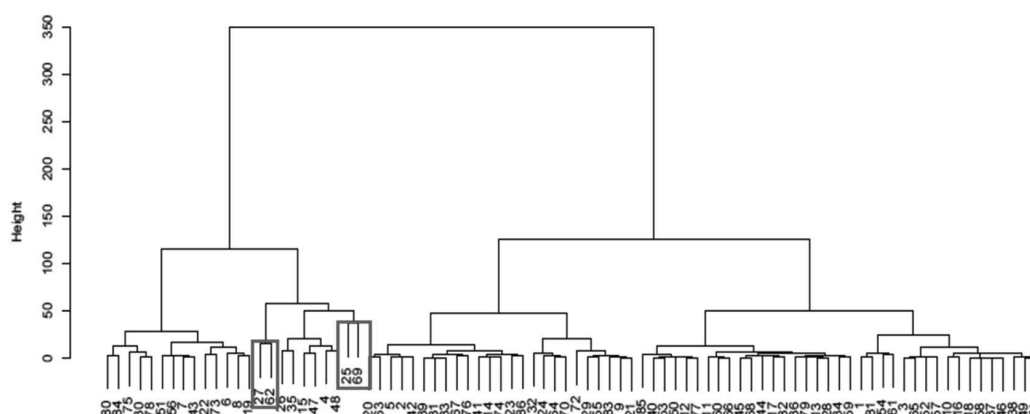


図11 1年生の全課題のクラスター分析



分析の結果、視覚系課題における特異データとしては、1年生の1104 (4), 1203 (25), 1204 (26), 1205 (27), 1215 (35), 1319 (62), 1405 (69)、2年生の 2101, 2218, 2219, 2403 が挙げられた（生徒番号に添えられた数字はクラスター分析で表示されている番号に該当する）。聴覚系課題では、2年生の 2101, 2219 が挙げられた。全課題では、1年生の 1203 (25), 1205 (27), 1319 (62), 1405 (69)、2年生の 2101, 2219 が挙げられた（生徒番号に添えられ

た数字はクラスター分析で表示されている番号に該当する）。クラスター分析から考えられる学習困難の可能性のある生徒は表5にまとめた。なお、パーセンタイル値ですでに検出されている生徒がクラスター分析でも検出された場合は生徒番号の前に◎で示してある。

表5 クラスター分析で検出された生徒

| 生徒番号  | 問1 | 問2 | 問3 | 問4書 | 問4誤 | 問5 | 問6 | 問7時 | 問7誤 |
|-------|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|
| ◎1104 |    |    | ○  | ○   |     | ○  | ○  |     |     |
| ◎1203 | ○  |    | ○  |     |     |    |    |     |     |
| ◎1204 | ○  | ○  | ○  | ○   |     | ○  |    |     | ○   |
| ◎1205 | ○  |    | ○  | ○   | ○   |    |    |     |     |
| ◎1215 |    |    | ○  | ○   |     | ○  |    |     |     |
| ◎1319 | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○  |    |     | ○   |
| ◎1405 |    |    | ○  | ○   |     | ○  | ○  | ○   |     |
| ◎2101 | ○  | ○  | ○  | ○   |     | ○  | ○  | ○   | ○   |
| ◎2218 |    | ○  | ○  |     |     | ○  |    |     | ○   |
| ◎2219 | ○  | ○  | ○  | ○   |     | ○  | ○  | ○   | ○   |
| ◎2403 |    |    | ○  |     | ○   |    |    |     |     |

#### 4.2 検出された生徒の妥当性を検証するための教員への聞き取り

4.1 の表4の課題ごとに検出された下位 10%の生徒と表5のクラスター分析で検出された生徒の実際の様子について、A 中学校の1・2年生の授業を担当している英語教員3名に話をうかがった。まず、表4に示された出席番号を提示し、それぞれの生徒について教員からみた様子を尋ねた。教員の話から判断して、表4の生徒の中には普段の生活や英語学習においては特段気にならない生徒が含まれていた。話し合いの結果、気にならない生徒が検出された理由としては次のようなことが考えられる。問1のアルファベット課題においては、アルファベットが制限時間内に思い出せなかった、A から Z の順番を意識しすぎて空欄のままにしまった、など。問3の視覚弁別課題は、教員から聞いた普段の様子から、問題形式への戸惑いや注意散漫やうっかりミス、やる気のなさが誤答を多くした原因であると推測できる。問4の視写課題の書字数においては、それぞれの生徒の様子や解答欄か

ら、丁寧に字を書くあまり十分な量を書けなかったのだと推測できる。また、視写課題の誤字数は、教員からの意見や解答欄を踏まえ、たまたま起きたミスや落ち着きのなさ、衝動性、字が丁寧でないことから起こったものだと推測できる。問6の聴覚弁別課題では、普段の成績が良い生徒が検出されている人数や気になる生徒が検出されていない人数が他の課題に比べて多かった。教員との話し合いから、学校のテストでやったことのない問題形式であったため、戸惑った生徒がいたのではないかと推測できる。問7の音読課題の時間においても、教員の気にならない生徒が検出されていたが、その生徒たちは誤り数においては検出されておらず、教員の意見からも真面目に取り組む生徒が多かったため、慎重に読むがゆえに時間がかかってしまったのだと考えられる。このような理由から、表4の中の教員が気になっていない生徒については、読み書きには問題はないと見なし、以下の表6のように分析結果から除くことができるのではないかと考える。

表6 教員が気になっていない生徒

| 生徒番号 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4書 | 問4誤 | 問5 | 問6 | 問7時 | 問7誤 |
|------|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|
| 1101 |    |    |    |     |     |    | ○  |     |     |
| 1104 |    |    | ○  | ○   |     | ○  | ○  |     |     |
| 1106 |    |    |    |     |     |    |    | ○   |     |

|      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1108 | ○ | ○ |   |   | ○ | ○ |   |   | ○ |
| 1109 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 1110 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1115 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 1116 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1120 |   | ○ |   |   |   | ○ |   | ○ | ○ |
| 1122 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 1123 |   |   |   |   |   | ○ |   | ○ |   |
| 1203 | ○ |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 1204 | ○ | ○ | ○ | ○ |   | ○ |   |   | ○ |
| 1205 | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   |   |   |   |
| 1207 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 1208 |   | ○ |   |   | ○ | ○ |   |   | ○ |
| 1210 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 1215 |   |   | ○ | ○ |   | ○ |   |   |   |
| 1222 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 1224 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1303 | ○ |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 1304 | ○ |   | ○ |   | ○ |   |   |   | ○ |
| 1308 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1309 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1311 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1312 |   |   |   | ○ |   |   |   | ○ |   |
| 1318 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1319 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ |
| 1405 |   |   | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   |
| 1406 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 1408 |   |   |   |   | ○ |   |   | ○ |   |
| 1409 |   |   |   |   |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1411 |   | ○ |   |   | ○ |   | ○ |   |   |
| 1414 |   | ○ |   |   | ○ |   |   |   | ○ |
| 1417 | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ | ○ |   | ○ |
| 1418 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 1421 | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   | ○ |
| 2101 | ○ | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2104 |   | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |   |
| 2105 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2108 |   | ○ |   |   | ○ | ○ |   |   | ○ |
| 2112 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2115 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2116 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2119 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2120 |   |   | ○ |   |   | ○ |   |   |   |
| 2121 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2122 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |

|      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2124 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2130 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2132 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2134 |   |   |   |   | ○ |   | ○ |   | ○ |
| 2201 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2202 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2203 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2206 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2207 |   |   | ○ |   |   |   |   |   | ○ |
| 2209 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2210 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2211 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2212 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2213 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2218 |   | ○ | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |
| 2219 | ○ | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2220 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2222 |   |   |   |   |   |   |   |   | ○ |
| 2224 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2228 |   |   |   | ○ |   |   |   | ○ |   |
| 2229 |   |   | ○ |   |   |   | ○ |   |   |
| 2230 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2231 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2234 |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2302 |   | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   |   |   |
| 2304 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2307 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2310 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2312 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2314 |   | ○ |   |   | ○ | ○ | ○ | ○ |   |
| 2315 | ○ |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2316 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2322 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2323 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2325 |   |   |   |   |   |   | ○ | ○ |   |
| 2326 |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2328 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2329 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2330 |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2402 |   |   |   |   | ○ |   | ○ |   |   |
| 2403 |   |   | ○ |   | ○ |   |   |   |   |
| 2404 |   | ○ |   | ○ |   | ○ |   |   | ○ |
| 2407 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2410 | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |
| 2412 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |

|      |   |   |   |  |   |   |   |   |   |
|------|---|---|---|--|---|---|---|---|---|
| 2418 |   | ○ |   |  |   | ○ |   |   | ○ |
| 2420 | ○ |   | ○ |  |   |   |   |   |   |
| 2426 | ○ |   |   |  |   |   |   |   |   |
| 2427 | ○ |   |   |  |   |   |   | ○ | ○ |
| 2428 |   | ○ |   |  |   | ○ |   |   | ○ |
| 2429 |   | ○ | ○ |  |   | ○ |   |   | ○ |
| 2431 |   |   |   |  |   |   | ○ |   |   |
| 2432 | ○ |   |   |  |   |   |   |   |   |
| 2434 |   |   |   |  | ○ |   |   |   |   |

#### 4.3 教員が気になっている生徒

表7の生徒番号の前に示してある○は、教員が英語の授業や普段の生活で気になっている生徒である。教員への聞き取りで読み書きには特に問題ないと判断された生徒を除いた表6と表7の教

員が気になっている生徒番号 2232 を除いて全て一致した。2232は分析では検出されなかったが、教員が気になっている低学力の生徒であった。この生徒はどの課題においても下位 10%には検出されておらず、ほとんどの課題で平均点以上であった。

表7 教員が気になっている生徒

| 生徒番号  | 問1 | 問2 | 問3 | 問4書 | 問4誤 | 問5 | 問6 | 問7時 | 問7誤 |
|-------|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|
| 1101  |    |    |    |     |     |    | ○  |     |     |
| ○1104 |    |    | ○  | ○   |     | ○  | ○  |     |     |
| 1106  |    |    |    |     |     |    |    | ○   |     |
| ○1108 | ○  | ○  |    |     | ○   | ○  |    |     | ○   |
| 1109  |    |    |    |     |     |    |    | ○   |     |
| 1110  |    |    |    |     |     |    | ○  |     |     |
| 1115  | ○  |    |    |     |     |    |    |     |     |
| 1116  |    |    |    |     |     |    | ○  |     |     |
| ○1120 |    | ○  |    |     |     | ○  |    | ○   | ○   |
| 1122  |    |    |    |     |     |    |    | ○   |     |
| 1123  |    |    |    |     |     | ○  |    | ○   |     |
| ○1203 | ○  |    | ○  |     |     |    |    |     |     |
| ○1204 | ○  | ○  | ○  | ○   |     | ○  |    |     | ○   |
| ○1205 | ○  |    | ○  | ○   | ○   |    |    |     |     |
| 1207  |    |    |    |     |     |    |    | ○   |     |
| ○1208 |    | ○  |    |     | ○   | ○  |    |     | ○   |
| 1210  |    |    |    | ○   |     |    |    |     |     |
| ○1215 |    |    | ○  | ○   |     | ○  |    |     |     |
| 1222  |    |    |    |     | ○   |    |    |     |     |
| 1224  |    |    |    |     |     |    | ○  |     |     |
| ○1303 | ○  |    |    | ○   |     |    |    |     |     |
| ○1304 | ○  |    | ○  |     | ○   |    |    |     | ○   |
| 1308  |    |    |    |     |     |    | ○  |     |     |
| 1309  |    |    |    |     |     |    | ○  |     |     |
| 1311  |    |    |    |     |     |    | ○  |     |     |
| 1312  |    |    |    | ○   |     |    |    | ○   |     |

|       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1318  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| ○1319 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ |
| ○1405 |   |   | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   |
| 1406  |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| ○1408 |   |   |   |   | ○ |   |   | ○ |   |
| ○1409 |   |   |   |   |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○1411 |   | ○ |   |   | ○ |   | ○ |   |   |
| ○1414 |   | ○ |   |   | ○ |   |   |   | ○ |
| ○1417 | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ | ○ |   | ○ |
| 1418  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| ○1421 | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   | ○ |
| ○2101 | ○ | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○2104 |   | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |   |
| ○2105 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| ○2108 |   | ○ |   |   | ○ | ○ |   |   | ○ |
| ○2112 |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2115  |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2116  |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2119  |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| ○2120 |   |   | ○ |   |   | ○ |   |   |   |
| 2121  |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2122  |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2124  | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2130  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2132  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| ○2134 |   |   |   |   | ○ |   | ○ |   | ○ |
| 2201  |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2202  |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2203  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| ○2206 |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| ○2207 |   |   | ○ |   |   |   |   |   | ○ |
| 2209  |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2210  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2211  |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2212  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2213  | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ○2218 |   | ○ | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |
| ○2219 | ○ | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2220  | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2222  |   |   |   |   |   |   |   |   | ○ |
| 2224  |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| ○2228 |   |   |   | ○ |   |   |   | ○ |   |
| 2229  |   |   | ○ |   |   |   | ○ |   |   |
| 2230  | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2231  |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |

|       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ○2232 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2234  |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| ○2302 |   | ○ |   | ○ | ○ | ○ |   |   |   |
| 2304  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2307  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| 2310  |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2312  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| ○2314 |   | ○ |   |   | ○ | ○ | ○ | ○ |   |
| ○2315 | ○ |   |   |   | ○ |   |   |   |   |
| 2316  |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2322  |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| 2323  |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2325  |   |   |   |   |   |   | ○ | ○ |   |
| 2326  |   |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2328  |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2329  |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 2330  |   |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| ○2402 |   |   |   |   | ○ |   | ○ |   |   |
| 2403  |   |   | ○ |   | ○ |   |   |   |   |
| ○2404 |   | ○ |   | ○ |   | ○ |   |   | ○ |
| 2407  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| ○2410 | ○ | ○ | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |
| 2412  |   |   |   | ○ |   |   |   |   |   |
| ○2418 |   | ○ |   |   |   | ○ |   |   | ○ |
| 2420  | ○ |   | ○ |   |   |   |   |   |   |
| 2426  | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ○2427 | ○ |   |   |   |   |   |   | ○ | ○ |
| ○2428 |   | ○ |   |   |   | ○ |   |   | ○ |
| ○2429 |   | ○ | ○ |   |   | ○ |   |   | ○ |
| 2431  |   |   |   |   |   |   | ○ |   |   |
| ○2432 | ○ |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 2434  |   |   |   |   | ○ |   |   |   |   |

## 5. まとめ

本研究では、英語学習における読み書きに困難を抱えた生徒を評価する方法の開発・実施を行い、その妥当性と信頼性を検証した。今回検出された生徒のほとんどが、現場の教員から見て気になる生徒と一致し、この評価法の有効性が実証された。しかし、教員ができるはずだと思っていた生徒が、実際に問題を解いてみると分かっていなかったり、逆に学力が低い生徒が良い点をとっていたりしたことも明らかになった。これについては、教員が生徒の潜在的な部分を把握し切れていない、もしくは、今回のテストでたまたまそういう結果になってしまったなどが考えられる。また、教員との話の中で「この生徒は能力は高いがやる気が見られない」といった生徒が何名か浮かんだ。この評価法の成績

は、本人の能力と努力が関わっており、努力次第ではより高い点数を取ることができる生徒も中にはいることが分かった。本研究で開発した評価法は、読み書きに困難を抱えている生徒の検出に高い確率で成功したと言っても過言ではないが、この結果のみを頼りに読み書きに困難を抱える生徒であるかどうかを「決定づける」ことの難しさも明らかとなった。スクリーニングの結果や普段の様子、様々な背景を踏まえながら、生徒一人ひとりを詳しく観察していくことはもちろん大切であるが、妥当性・客観性の高い、そして、即時性のある標準化された評価法の開発も喫緊の課題であることは間違いない。今後は、課題の質と量や回答形式と回答時間などの詳細な検討を行った上で、より妥当性・信頼性の高い、即座・即時性のある評価法の開発研究を行っていきたい。

## 引用文献

- 猪俣朋恵・宇野彰・春原則子 (2013) 「年長児におけるひらがなの読み書きに影響する認知要因の検討」 『音声言語医学』 54, pp.122-128.
- 宇野彰 (2016) 「発達性読み書き障害」 『高次脳機能研究』 36(2), pp.170-176.
- 麻植由紀子・小枝達也 (2014) 「発達障害がある生徒に対する英語学習支援に関する研究」 『地域学論集』 第10巻第3号, pp.75-84.
- 神谷純子 (2015) 「英単語の読み書き能力に関するアセスメント (試案) と支援 - 「ひらがな・漢字の書字発達段階表」 を応用して -」 『帝京科学大学紀要』 11, pp.109-113.
- 田中裕美子 (2005) 「言語学習障害・読み書き障害」 『音声言語医学』 46(2), pp.148-154.
- 文部科学省 (1999) 「主な発達障害の定義について」 (2016年11月16日) [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/004/008/001.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/004/008/001.htm)
- 文部科学省 (2012) 「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」 (2016年11月16日) [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/material/1328729.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1328729.htm)
- 横川博一 (編著) (2009) 『日本人英語学習者の英単語親密度 音声編』 くろしお出版.
- Lyon, G. R., Shaywitz, S. E. & Shaywitz, B. A. (2003) A definition of Dyslexia. *Ann. Dyslexia*, 53, pp.11-14
- Shiota M., Koeda T., & Takeshita K. (2000). Cognitive and neurophysiological evaluation of Japanese dyslexia. *Brain & Development*. 22(7), pp.421-426.
- Snowling, M. J. (2000). *Dyslexia*. Blackwell.

## 【問合せ先】

中川あすか assu\_2033@yahoo.co.jp  
 多良 静也 tara@kochi-u.ac.jp

Appendix

問1 アルファベットを全て**大文字**で書いてください。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |



問2 次の単語の意味を（ ）に書きなさい。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ① dog ( )    | ⑪ speak ( )  |
| ② food ( )   | ⑫ spring ( ) |
| ③ eight ( )  | ⑬ bed ( )    |
| ④ tennis ( ) | ⑭ June ( )   |
| ⑤ bag ( )    | ⑮ apple ( )  |
| ⑥ fish ( )   | ⑯ jump ( )   |
| ⑦ game ( )   | ⑰ hot ( )    |
| ⑧ Sunday ( ) | ⑱ quiz ( )   |
| ⑨ run ( )    | ⑲ woman ( )  |
| ⑩ help ( )   | ⑳ friend ( ) |

問3 次の2つの単語を見て、同じであれば○、違っていれば×をつけなさい。

- |                  |     |                  |     |
|------------------|-----|------------------|-----|
| ① dog, doq       | ○ × | ⑪ web, web       | ○ × |
| ② jam, iam       | ○ × | ⑫ cock, cook     | ○ × |
| ③ egg, egg       | ○ × | ⑬ olb, old       | ○ × |
| ④ NPO, IPO       | ○ × | ⑭ flower, tlower | ○ × |
| ⑤ map, map       | ○ × | ⑮ woman, moman   | ○ × |
| ⑥ earth, earn    | ○ × | ⑯ sunner, summer | ○ × |
| ⑦ pet, pet       | ○ × | ⑰ United, Vnited | ○ × |
| ⑧ Japan, Tapan   | ○ × | ⑱ soup, souq     | ○ × |
| ⑨ helb, help     | ○ × | ⑲ hat, hat       | ○ × |
| ⑩ Sunday, Sunday | ○ × | ⑳ song, song     | ○ × |

問4 次の文章をできるだけ速く正確に写してください。

Do you know about wheelchair basketball? Many people play it in Japan. This is Mr Kyoya Kazuyuki. He plays basketball. He is in a special wheelchair. He can move easily in it. He is a very good player. He can shoot very well. What are some rules of wheelchair basketball? Players can carry the ball on their laps. They can't hold the ball too long. They can push their own chairs one or two times with the ball. Wheelchair basketball is very exciting. Let's watch a game.

問 5 CD から流れる英単語を聞いて、つづりを書きなさい。

① \_\_\_\_\_

⑪ \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

⑫ \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

⑬ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑭ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_

⑮ \_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

⑯ \_\_\_\_\_

⑦ \_\_\_\_\_

⑰ \_\_\_\_\_

⑧ \_\_\_\_\_

⑱ \_\_\_\_\_

⑨ \_\_\_\_\_

⑲ \_\_\_\_\_

⑩ \_\_\_\_\_

⑳ \_\_\_\_\_

問6 CD から流れる音が2つとも同じであれば○、違っていたら×に丸をつけなさい。

① ○ ×

⑪ ○ ×

② ○ ×

⑫ ○ ×

③ ○ ×

⑬ ○ ×

④ ○ ×

⑭ ○ ×

⑤ ○ ×

⑮ ○ ×

⑥ ○ ×

⑯ ○ ×

⑦ ○ ×

⑰ ○ ×

⑧ ○ ×

⑱ ○ ×

⑨ ○ ×

⑲ ○ ×

⑩ ○ ×

⑳ ○ ×

問 7 次の単語をできるだけ速く、正しく、声に出して読みなさい。

① animal

⑪ first

② teacher

⑫ difficult

③ now

⑬ work

④ January

⑭ camera

⑤ play

⑮ nice

⑥ practice

⑯ light

⑦ put

⑰ sorry

⑧ old

⑱ beautiful

⑨ want

⑲ year

⑩ about

⑳ know